

前回（令和元年度第1回）里山保全審議会の振り返り

■日時

令和2年1月30日（木）

■議題

- 1 高知市里山保全の取組の進捗状況について（報告）
- 2 活動事例を踏まえた「生かす」里山について（意見交換）

■議題1「高知市里山保全の取組の進捗状況について」

里山保全地区等での里山保全の取組の進捗状況を報告した。

主な意見

- ・円行寺の山と鳥坂山は地権者が保全活動に対して前向きであり、魅力的である。各里山について、今後利活用の可能性が十分にあるが、資金や人材の不足といった課題もある。

■議題2「活動事例を踏まえた「生かす」里山について」

久重地域及び認定こども園もみのき幼稚園・めだか園の里山保全活動の事例について委員から報告があり、意見交換を行った。

主な意見

- ・里山をより大きく巨視的に捉え、里山保全条例の役割や他条例等との関係性を明確化することで、条例や審議会の役割が見えてくるのではないか。
- ・中山間地域合併や、社会情勢の変化に伴い開発抑制が必要に迫られなくなり、条例施行時と実状が大きく変化している。まずは市民の意識改革や行政が担うべき役割を整理したうえで、里山保全の関係者（地元住民、行政、企業、地域外の主体）の役割分担を議論すべきである。